

平成30年度 第三回学校運営協議会 記録

日時： 平成31年2月16日（土）9時30分～11時55分

場所： 大阪府立布施北高等学校校長室

出席者： 学校運営協議会委員6名、校長、教頭2名、事務長、首席、教諭1名

1 校長挨拶

- ・エンパワメントスクール全体の志願者数が昨年より減少傾向。いかに魅力ある高校にしていくかが大切である。

2 委員からの意見聴取

【学校教育自己診断について】承認

- ・生徒たちの、授業に対する評価やデュアルシステムに関する評価が高いのが良い。
- ・学年別の満足度の分析もしてほしい。
- ・保護者分の回収率をもっと高める努力が必要である。
- ・教職員が多忙で教員間の連携協力についての余裕がないのも課題である。

【学校経営計画及び学校評価について】承認

- ・デュアル実習の出席率93.3%、欠席者数、遅刻者数の減少等、学校は努力している。
- ・デュアルシステムはエンパワメントスクールの中でも布施北高校の大きな魅力。しっかりと継続すべきである。

【今後の課題と方向性】

特色づくりについて

- ・生徒たちは、厳しい中で学んでいる。布施北高校はそれを後押しする教職員や地域の努力が素晴らしい。「学びなおし」も大切だが、生徒の夢やビジョンを育むキャリア教育が重要である。今後もデュアルを軸にしたエンパワメントスクールを継続していくべきである。
- ・中学校のイメージとしては「学びなおし」ができる高校として定着してきた。二者択一ではなく、両立が大切である。

PRについて

- ・中学校訪問等積極的に行っている。
- ・デュアル実習先を含め200社以上のサポーターがいる。その伝達力を活用する方法がある。

「コンソーシアム」について

- ・「地方創生に資する高等学校改革」として、国が予算をつけて動き出している。来年度以降はこのような事業を活用して高校と地域のマッチングを積極的に行ってほしい。
- ・学校と地域を繋げるコーディネーターを配置できれば、両者が元気になる。また、教職員の残業も減らせる。地域資源の活用を考えていくべきである。

特別非常勤講師について

- ・人的条件の充実のために、昨年並みに確保して教育活動のさらなる充実を期する。

事前協議について

- ・学校運営協議会の定例会だけでは、時間が不足している。事前協議会の時間を設定してほしい。

【提言】

- ・地域と学校の協働が重要である。両者を繋ぐコーディネーターの配置検討を要望する。